

---

# 教育実践ニュースレター

日本教育実践学会 The Japan Society for Studies on Educational Practices (JSSEP)

<http://www.jssep.org/>

No. 10 2006年7月

---

## ■ 教育実践について ■

日本教育実践学会会長 塩見 邦雄

(相愛大学人間発達学部教授・兵庫教育大学名誉教授)

今年は厳しい寒さの冬で、続けて、あまり気温が上がらない春でした。今この原稿をかいている時は梅雨の末期で、雨がすごくいっぱい降っています。今年は雨も多いようです。災害もできています。しかし、もうまもなく「夏」になるはずですが、日本の季節はめまぐるしく変わっていききます。それがまた季節感を感じさせてくれていいのですが、気温が低かったり、雨が多かったですと、やはり困ります。

このように天候が少し不順ですが、先生方には、お変わりなくご清栄にてご活躍のことと拝察いたします。

本、日本教育実践学会もだんだんと年輪を重ねていきます。昨年は、第8回研究大会を新潟大学（大会委員長は生田孝至教授）で開催させていただきました。多くの方々が参加され発表等が熱心に行われました。本年度は11月11日（土）12日（日）に鳴門教育大学で第9回目の研究大会が開催されます（大会委員長は齋藤昇教授）。前回同様に、是非とも多くの先生方がご参加されますようにご案内いたします。

そして、来年は第10回大会です。日本教育実践学会が創設されてから、早くも10年が経過したことになります。投稿論文も最近は増加傾向にあり、また審査の流れもスムーズに動くようになってきました。研究機関誌も年2回の刊行ができるようになってきました。これも、西之園晴夫編集委員長、常任編集委員の先生方、審査委員の各先生方のご努力のお蔭です。

ところで、教育もいまや「如何に教えるか」ということが中心課題となってきました。「教える」ということは大変むずかしく、さまざまな力量がいる仕事です。そのために、教師の教育力や指導力も遡上にのぼるようになってきました。当たり前のことですが、「わからない授業」をすることは厳しく「問題視」されるようになってきました。それと平行して、「教育」の改革も徐々に進められていきます。「教員の専門職大学院」の設置もその一つです。「師」としての「教師」のあり方が、再び問われています。本当に「教えるという仕事」は難しい仕事で、一朝一夕で身に付く能力ではないのです。教師の認知力・理解力の構造と子どものそれらとは違います。教師の認知力・理解力を子どものレベルに持っていくには、さまざまな関門があります。そういった理論の提示も含めて、過去には、教育理論は、数多く提示されてきました。歴史的には、新しい教育理論が作られた、葬られた、の繰り返しというところでしょうか。長続きする強力な教育理論がなかなか出てこなかったというのが、「教育」に関わる事情であり、問題点です。もっとも、これまでにそういった強力で信頼できる「理論」があれば人々はもっといろいろな点で進展したのかもしれない。かくして、「教育」に関わっての「教育実践」について研究している日本教育実践学会の研究テーマは増加することはあっても減ることはありません。教育実践は本当に様々な問題を持っていますが、教育の基幹の問題です。

日本教育実践学会が、教育実践のベテランの先生方や新しい先生方が集われて、教育の問題について真摯に考え、実践を行い、豊かな教育力とは何か、有効な教育技術のあり方等について検討していくことが、今も、今後も常に求められています。

## 日本教育実践学会第9回研究大会開催のご案内（第一次）

日本教育実践学会会長 塩見邦雄  
第9回研究大会準備委員長 齋藤 昇

会員の皆様にはお元気でご活躍のこととお喜び申し上げます。

さて、このたびは日本教育実践学会第9回研究大会を鳴門教育大学で開催させていただくことになりました。今大会では、「自由研究」「課題研究」「シンポジウム」を企画しています。

日程や研究発表の申し込み方法について、次の通りご案内申し上げます。多数の会員の皆様のご参加、ご発表を心よりお待ちしております。

### 記

主催 日本教育実践学会  
後援 鳴門市教育委員会

1 期 日 2006年11月11日(土)・12日(日)

2 会 場 鳴門教育大学(〒772-8502 鳴門市鳴門町高島字中島748)

#### 3 日 程

11月11日(土)

9:30~10:00	受付
10:00~12:00	自由研究発表・課題研究発表(編集委員会10:30~12:00)
12:00~13:15	昼食(理事会)
13:15~14:00	総会
14:00~15:20	自由研究発表・課題研究発表
15:30~17:00	シンポジウム「教育実践研究の現在と未来」
17:30~19:00	懇親会

11月12日(日)

9:00~9:30	受付
9:30~12:00	自由研究発表・課題研究発表
12:00~13:00	昼食
13:00~14:00	自由研究発表・課題研究発表

#### 4 発表の申し込み

(1) 研究発表は、自由研究と課題研究です。一人で、自由研究と課題研究の2件まで発表できます。

発表者は、会員となります。会員については、本年度までの学会費を大会当日までに納入していることが要件です。新たに学会に入会し発表される方は、発表申し込みと並行して次の日本教育実践学会事務局に入会手続きをお取りください。

〒673-1494 兵庫県加東市下久米942-1 兵庫兵庫教育大学 日本教育実践学会事務局  
TEL: 0795-44-2126 FAX: 0795-44-1134

#### (2) 自由研究発表

論文原稿 A4で2枚(p.5~6の書式で作成してください。)

送付表(p.7の様式をコピーしてお使いください。)

締切日9月8日(金)(必着)

\_\_\_\_\_, の書類の到着をもって申し込みとします。事前の申し込みは必要ありません。

- (3) 課題研究発表：課題研究は、1)授業研究 2)情報教育 3)心の教育 4)地域連携 の4つを用意しています。4つの中から1つをお選びください。

論文原稿 A4で4枚(p.5～6の書式で作成してください。)

送付表(p.7の様式をコピーしてお使いください。)

締切日9月8日(金)(必着)

\_\_\_\_\_, の書類の到着をもって申し込みとします。事前の申し込みは必要ありません。

- (4) 原稿と送付表の送付先

以下の「9 大会事務局」宛に送付してください。

#### 5 参加案内

参加費と懇親会費の総額を、同封の郵便振込用紙にて9月8日(金)までに振り込んでください。

参加費(論文1冊を含む)	正会員・一般(当日臨時会員)	4,000円
	学生会員	3,000円
懇親会費		3,000円
郵便振込用紙(同封の振込用紙をお使いください)		
加入者名: 日本教育実践学会第9回研究大会実行委員会		
口座番号: 01650-5-130246		

#### 6 総会案内

大会初日11月11日(土)13:15～14:00に総会が開催されます。なお、委任状のハガキを10月上旬のプログラム送付時に同封いたしますので、当日ご欠席の場合は、記名捺印して10月25日(水)までにご返送ください。

#### 7 交通機関・宿泊案内

p.4の交通機関・宿泊案内をご覧ください。宿泊は、各自でホテルへ電話をして予約してください。

#### 8 今後の通信予定

2006年10月上旬頃に、ニュースレター及び学会のホームページにプログラムを掲載する予定です。

#### 9 大会事務局

〒772-8502	鳴門市鳴門町高島字中島748	鳴門教育大学 自然棟
	日本教育実践学会第9回研究大会事務局	
齋藤 昇	電話:088-687-6392	Fax:088-687-6022 E-Mail:nsaito@naruto-u.ac.jp
小原 豊	電話:088-687-6546	Fax:088-687-6022 E-Mail:ohara@naruto-u.ac.jp

【交通・宿泊案内】

(1) 交通機関

航空機を利用の場合

徳島空港からバスで JR 鳴門駅前へ(約15分)。JR鳴門駅前で乗り換えて、バス又はタクシーで鳴門教育大学(行き)へ(約10分)。

JRを利用の場合

JR鳴門駅からバス又はタクシーで鳴門教育大学(行き)へ(約10分)。

高速バスを利用の場合

「高速鳴門」バス停で降車。小鳴門橋(バス停)からバス又はタクシーで鳴門教育大学(行き)へ(約10分)。

注. 大会当日は、土、日で大学までのバスの本数が少ないので、バスの時間を確認し、十分に時間をとって早めにおいでください。

(2) 宿 泊

各自でホテルへ電話をして予約してください。下のホテルの番号は、地図の中の位置の番号です。次のホテルは、鳴門駅から徒歩で5～10分位です。

	ファーストシーズン(40室)	鳴門市撫養町	088-686-3261
	ビジネスホテル第一(17室)	鳴門市撫養町	088-685-2222
	ビジネスホテルはま(71室)	鳴門市撫養町	088-685-2600
	ビジネスホテル鳴門(53室)	鳴門市撫養町	088-686-2555
21	ビジネスホテルBM(32室)	鳴門市撫養町	088-686-0211
22	ビジネスホテル北洋(80室)	鳴門市撫養町	088-685-8883
23	アド・イン鳴門(52室)	鳴門市撫養町	088-685-1115
24	ホテルヴィルベル(61室)	鳴門市撫養町	088-684-4811

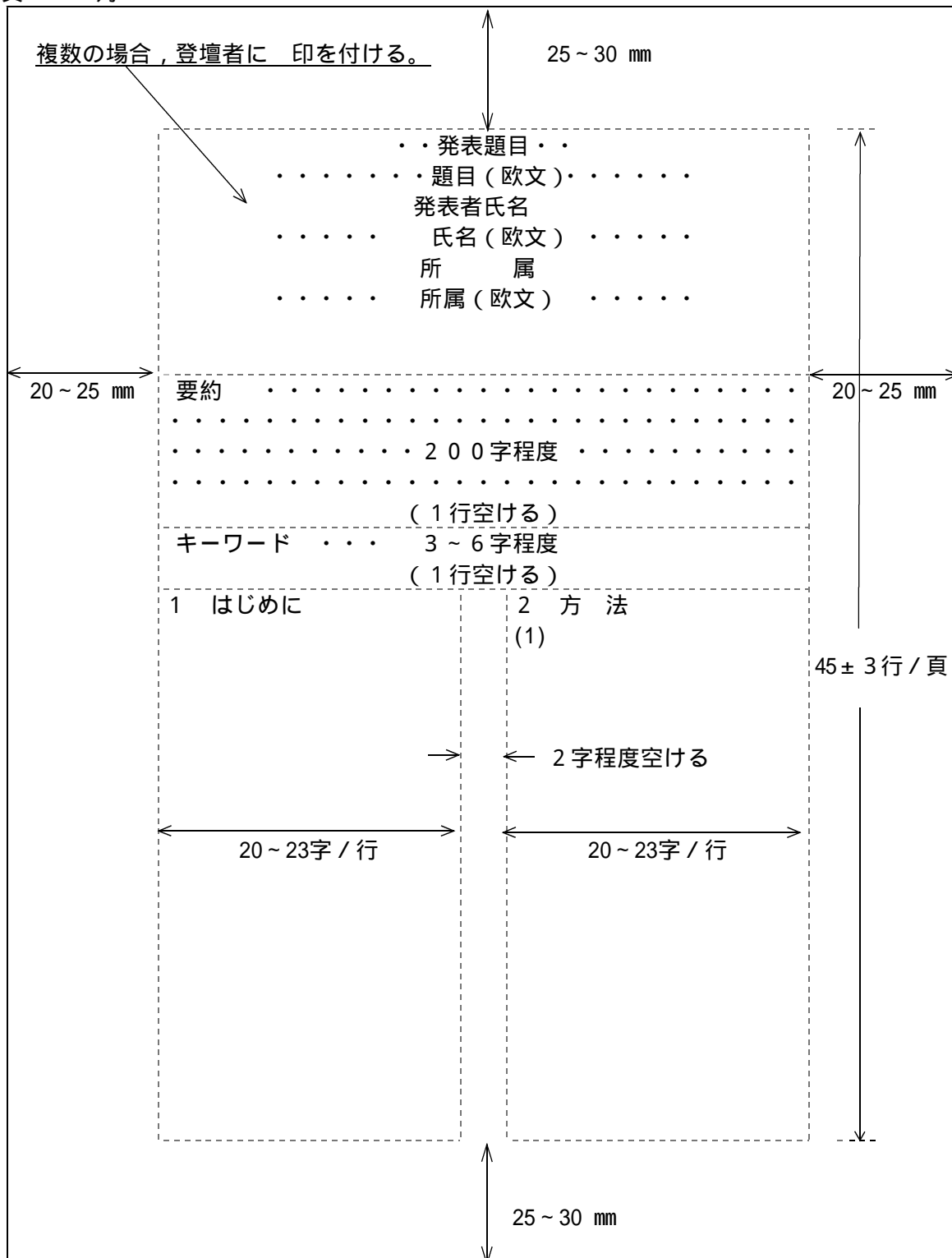
以下のホテルは、下の地図に出ていませんが、タクシーでホテルから大学まで約8分です。

	鳴門グランドホテル(44室)	鳴門町大毛	088-687-1515
	ルネッサンスリゾートナルト(209室)	鳴門町大毛	088-687-2580

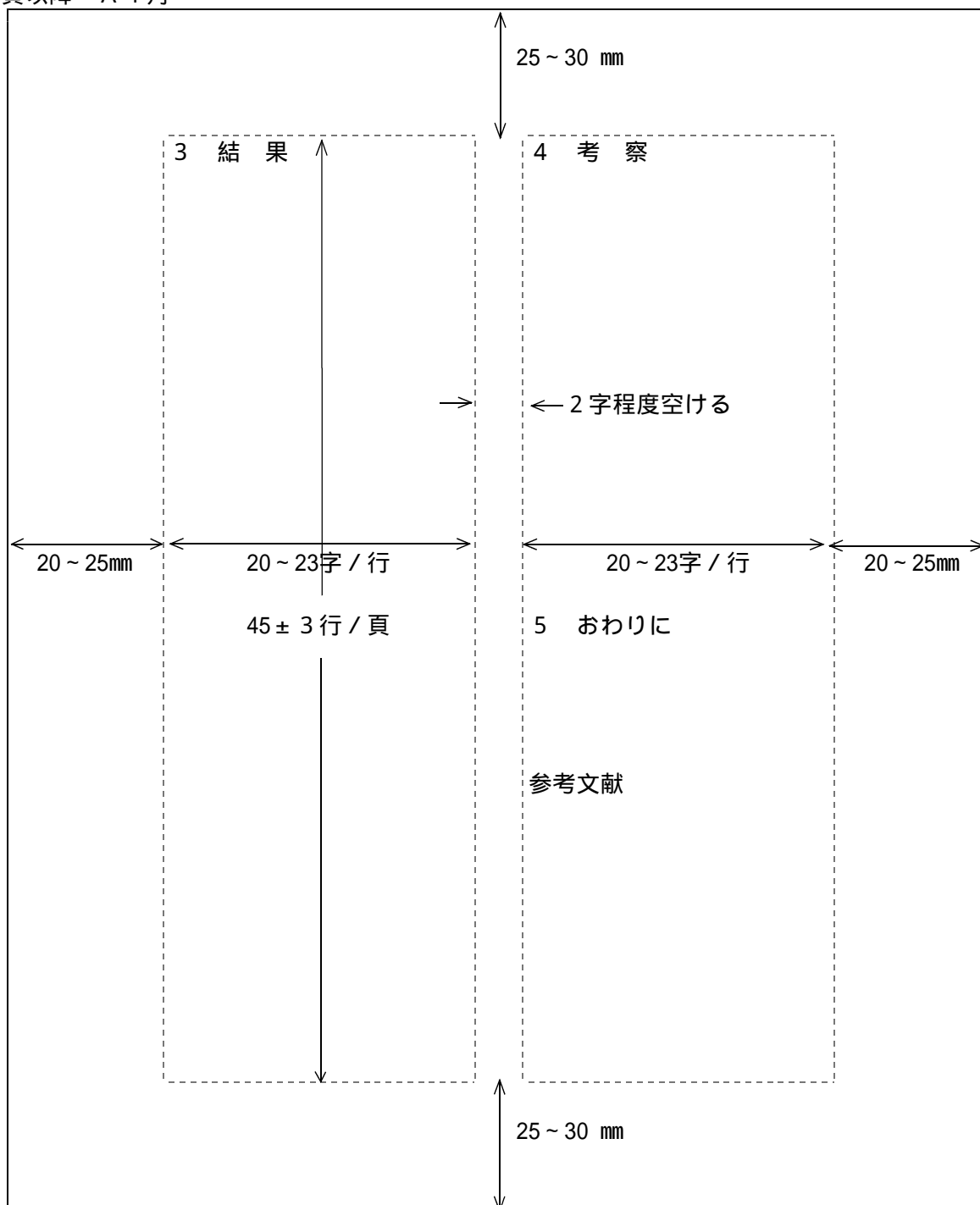


原稿執筆要綱：研究発表論文の書式（自由研究，課題研究とも同じ）

1頁 A4判



2 頁以降 A 4 判



原稿の枚数は、自由研究が 2 枚，課題研究は 4 枚の偶数ページ仕立てです。これ以外の枚数は受け付けられません。原稿は、配送時に折れないように厚紙などを入れて郵送してください。

原稿提出期限 9 月 8 日 ( 金 ) 必着

## 送 付 表

- ・ 発表 1 件につき 1 枚ご記入ください。
- ・ コピーをしてご使用ください。

受 理 年 月 日		整 理 番 号	
--------------	--	------------	--

1 発表種別 (該当項目を で囲む。)	自由研究  課題研究( 1) 授業研究 2) 情報教育 3) 心の教育 4) 地域連携 )
2 発表者名  (複数の場合は、 登壇者に印 をつける。)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 所属 ( )</li> <li>・ 所属 ( )</li> <li>・ 所属 ( )</li> <li>・ 所属 ( )</li> </ul>
3 発表題目	
4 送付したも の	研究発表論文原稿 送付表
5 懇親会参加 (どちらかを で囲む。)	参加  不参加
6 受領確認票送付先(コピーし返信用住所として使用しますので、正確にご記入ください。)	
<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; min-height: 200px;"> <p style="margin-left: 20px;">〒</p> <p style="margin-left: 20px;">住所</p>   <p style="margin-left: 20px;">氏名</p>   <p style="margin-left: 20px;">電話番号</p>   <p style="margin-left: 20px;">E-Mail</p> </div>	

■ 事務局からのお知らせ ■

1. 会費の納入について

別紙「2005年度会費納入のお願い」と「日本教育実践学会」宛の郵便払込票を同封しておりますので、各位、お名前とご請求金額をご確認の上、納入くださいますようお願いいたします（手数料は各自でご負担願います）。過年度分が未納の方はそれも併せてお支払いいただきますようお願いいたします。ご請求金額が「¥0」の方は既に2005年度分まで納入いただいておりますので、今回ご送金いただく必要はございません。

なお、年会費は正会員 6,000 円、学生会員 5,000 円となっております。会員身分に変更のあった方は、通信欄等にてその旨ご連絡ください。払込先は次の通りです。第9回研究大会参加諸費用の払込先（日本教育実践学会第9回研究大会実行委員会）とは別ですので、くれぐれもお間違えのないようご注意ください。

加入者名：日本教育実践学会  
口座番号：01660-2-10749

2. 住所・所属等変更通知のお願い

住所・氏名・所属・会員区分等に変更のあった方は、会員番号（宛名ラベルの下部にある4桁の番号）を付記し、末尾事務局入退会担当までお知らせください。

■ 新入会員（平成17年10月31日～平成18年05月11日現在） ■

〔会員番号〕	〔氏名〕	〔会員区別〕	〔所属〕	〔職名〕
0455	植田 悦司	正会員	兵庫教育大学附属小学校	教諭
0456	天根 哲治	正会員	兵庫教育大学	助教授
0457	和田 泉	学生会員	上越教育大学大学院	大学院生
0458	小林 悟	学生会員	上越教育大学大学院	大学院生
0459	小林 隆	正会員	佛教大学	専任講師
0460	矢野 正	正会員	帝塚山学院	教諭
0461	増田 富	正会員	静岡市立長田南中学校	教諭
0462	小原 豊	正会員	鳴門教育大学	助教授
0463	黄 喜柵	学生会員	兵庫教育大学	特別研究生
0464	宮地 功	正会員	岡山理科大学	教授
0465	氏間 和仁	正会員	福岡教育大学	講師
0466	石上 靖芳	正会員	静岡大学	助教授



■ 退会者（平成 17 年 10 月 31 日～平成 18 年 05 月 11 日現在） ■

〔会員番号〕〔氏名〕

0012 光元 聰江

0194 吉田 寿夫

0290 平井 和雄

◎ 正会員 255 名、学生会員 75 名 計 330 名 （2006 年 05 月 11 日現在）

■ 日本教育実践学会 2005 年度第 1 回理事会議事録 ■

日時：2005 年 11 月 4 日（金）午後 6 時～8 時

会場：新潟大学教育人間科学部小会議室

協議事項

- 1 2004 年度事業報告および収支決算について  
塩見会長より 2004 年度事業報告および収支決算書が提示され承認された。
- 2 2005 年度事業計画案及び予算案について  
塩見会長より 2005 年度事業計画案および予算案が提示され承認された。
- 3 第 8 回定時総会式次第について  
塩見会長より第 8 回定時総会式次第が提示され承認された。
- 4 第 9 回研究大会について  
鳴門教育大学にて開催されることが承認された。
- 5 編集委員会について  
学会誌第 7 巻の発行について承認された。  
2005 年度における編集委員会の委員名簿が提示され承認された。  
増井三夫氏(上越教育大学)を常任編集委員会の委員に加えることが承認された。
- 6 住所不明会員の処置について  
住所不明会員名簿が資料により提示され、これらの会員に対し連絡先確認を行い、確認できない会員については除名処分することが承認された。除名対象となる会員は 45 人。
- 7 年会費未納会員の処置について  
年会費未納会員の処置について以下の 2 点が承認された。  
(1) 平成 17 年 11 月 4 日時点で、3 年度分（2002 年度～2004 年度）を越えて年会費を未納の会員に対しては、平成 17 年 12 月 31 日までに会費の納入がなければ除名とする旨の通告を付した請求書を送付する。その上で、平成 18 年 1 月 10 日をもって年会費未納分の全額もしくは一部の納入がない者を除名とする。  
以後、事務局より年度会費を請求する際には、その都度、過去 3 年度分を越えて会費を未納の会員に対しては同様の措置を行う。  
(2) 平成 17 年 11 月 4 日時点で、過去 2 年度分（2003 年度と 2004 年度）以上年会費を未納の会員に対しては、平成 17 年 12 月 31 日までに会費の納入がなければ、納入されるまでの期間中に刊行された本学会誌『教育実践学研究』の送付を停止する旨の通告を付した請求書を送付する。その上で、平成 18 年 1 月 10 日をもって過去 2 年度分の会費の全額もしくは一部の納入がない者に対しては、納入があるまでの期間に刊行された会誌の送付を停止する。納入があり次

第、未納期間中に刊行された会誌を送付する。ただし、2003年度ならびに2004年度の納入があった場合でも、納入時点で過去2年度分の会費未納があり、かつ、会費未納期間が3年度分を越えていない場合には、再度請求をした上で、期日までに未納の場合には引き続き会誌の送付を停止する。

以後、事務局より年度会費を請求する際には、その都度、過去2年度分以上会費を未納の会員に対しては同様の措置を行う。

8 新入会員・退会会員について

2005年10月27日迄の入会希望者4名の入会が承認された。

また、退会希望者4名の退会が承認された。

9 その他

東京大学佐藤学氏より、本学会に教育学連合会議に加入依頼があり、加入が承認された。

報告

- 1 学術会議が改組され、学術会議協力団体として申請し、学術会議から承認された（2005年10月31日）。

■ 日本教育実践学会 2005年度第2回理事会議事録 ■

期日：2006年5月15日

持ち回り審議

審議事項

1 組織担当幹事の交替について

学会事務局組織担当幹事について、松本伸示氏（兵庫教育大学）から筱 更治氏（奈良県立王寺工業高等学校）に交替することが承認された。

2 入退会員について

2005年11月19日以降2006年5月11日迄の入会希望者8名の入会が承認された。

また、2005年11月19日以降2006年5月11日迄の退会希望者3名の退会が承認された。

日本教育実践学会

事務局

〒673-1494 兵庫県加東市下久米 942-1 兵庫教育大学

事務局長 正司和彦 0795-44-2140 showji@hyogo-u.ac.jp

会費納入に関する問合せ 宮元博章 0795-44-2124 miyahiro@hyogo-u.ac.jp

入退会に関する問合せ 筱 更治 0745-72-4081 shino@hyogo-u.ac.jp

ニュースレターに関する問合せ 永田智子 0795-44-2184 ttagata@hyogo-u.ac.jp

学会誌「教育実践学研究」編集委員会事務局

〒603-8301 京都市北区紫野北花ノ坊町9-6 佛教大学内 小林隆

075-491-2141 内線 7310 koba-t@bukkyo-u.ac.jp